



県議会ふくしま

12月定例会の概要(12/5〜12/19開催)

第72号

【企画・編集】
福島県議会広報委員会



ふくしまからはじめよう。

定例会での主な質疑

30年度当初 予算編成方針

【質疑】平成30年度当初予算をどのような考えの下に編成していくのか。

海外への 情報発信

【質疑】北米・南米、人権訪問等の成果を踏まえ、海外への情報発信に関する知事の思いを尋ねる。

農業の振興

【質疑】担い手不足が課題である本県の農業の振興をどのように図っていくのか。

情報モラル教育

【質疑】県立高等学校において、インターネットを通じた被害から生徒を守るため、どのように取り組んでいくのか。

共に生きる 社会の実現

【質疑】障がいのある方もない方も共に生きる社会の実現にどう取り組んでいくのか。

地元中小企業 への参入支援

【質疑】成長産業の育成・集積に向け、地元企業の参入支援にどのように取り組んでいくのか。

特別支援教育 の環境整備

【質疑】特別支援教育の環境整備にどのように取り組んでいくのか。

議員定数等検討 委員会を開催

12月7日、議員定数等検討委員会(斎藤健治委員長)を開き、選挙区の特例措置に係る国会の動き等

政務活動費を協議

12月12日、政務活動費検討会(小松山善継会長)を開き、平成30年度以降の政務活動費の交付額について協議を開始した。

議会情報公開 審査会を開催

12月13日、議会情報公開審査会を開き、会長に小松山善継議員、会長代理に紺野長人議員を互選するとともに、県議会情報公開条例の内容を確認・協議

3つの調査特別委員会を新たに設置

12月定例会では、知事提出議案として、105億4100万円に上る一般会計補正予算などの予算に関する議案11件、平成28年度決算関係議案5件、「Jヴィレッジ全天候型練習場条例」などの条例に関する議案69件、その他の議案42件、議員提出議案として「主権者教育の確立と投票機会の拡大を求める意見書」など8件、請願は「私立小・中・高等学校に対する運営費補助金の充実を求めることについて」など10件を、それぞれ可決・同意・承認・採択するとともに、「避難地域等復興・創生対策」「健康・文化スポーツ振興対策」「交流人口拡大・過疎地域等振興対策」の3つの調査特別委員会を新たに設置しました。

交流人口拡大・過疎地域等振興対策特別委員会
委員長: 高野 光二
副委員長: 佐藤 義憲
理事: 渡部 優生
阿部 裕美子
今井 久敏
瓜生 信一郎
佐藤 憲保
宗方 勝利
斎藤 山田平四郎
星 公正

健康・文化スポーツ振興対策特別委員会
委員長: 満山 喜一
副委員長: 三瓶 正栄
坂本 竜太郎
宮本 しづえ
遊 久男
小松 善継
川田 昌治
斎藤 秀樹
高橋 俊男
佐久間 ち智
水野 さち
鈴木 大場 秀樹

避難地域等復興・創生対策特別委員会
委員長: 青木 稔
副委員長: 宮川 政夫
橋本 徹
神谷 悦子
円谷 健市
太田 光秋
三亀 博昭
嶋 純一
宮川 昭泰
小安 一男
矢島 義謙

12月補正予算 総額105億4100万円

【主な内容】

- 携帯電話通話エリア 広域ネットワーク化事業 1億337万円
国道114号における携帯電話不通話区間の解消を支援
- 鳥獣被害対策強化事業 5688万円
イノシシによる被害を低減させる対策を推進
- 航空宇宙産業集積推進事業 2402万円
航空宇宙産業の集積に向けた人材育成や技術力向上を支援
- 福島インバウンド復興対策事業 5380万円
外国人観光客の一層の誘客を促進
- 福島空港復興加速化推進事業 1138万円
福島空港の九州・沖縄地方とのチャーター便の増便を支援

議会構成の変更

12月5日、議員の辞職により会派構成が次のとおり変更となりました。

定数58人、現員54人
(自由民主党26人、民進党・県民連合19人、日本共産党5人、公明党3人、ふくしま未来ネット1人)

議院の現状と取組を学ぶ

12月8日、「議員勉強会」を開催し、山名元(はじむ)氏(原子力損害賠償・廃炉等支援機構理事長)を講師に迎え、「福島第一原子力発電所の廃炉に向けた取組について」講義を受け、廃炉に関する認識を深めた。

決算審査意見書を取りまとめ

12月13日、決算審査特別委員会(小松山善継委員長)を開き、平成28年度の決算に対する意見書を取りまとめ、決算関係議案の採決を行った。

30年度当初予算編成方針

12月7日、議員定数等検討委員会(斎藤健治委員長)を開き、選挙区の特例措置に係る国会の動き等

政務活動費を協議

12月12日、政務活動費検討会(小松山善継会長)を開き、平成30年度以降の政務活動費の交付額について協議を開始した。

議会情報公開審査会を開催

12月13日、議会情報公開審査会を開き、会長に小松山善継議員、会長代理に紺野長人議員を互選するとともに、県議会情報公開条例の内容を確認・協議

可決した国への意見書

(平成29年12月19日、国へ提出)

- ① 私立助成の充実強化等に関する意見書
- ② 持続可能な社会保障制度の確立を求める意見書
- ③ 主権者教育の確立と投票機会の拡大を求める意見書
- ④ いじめ、体罰、わいせつ行為などへの対策推進を求める意見書
- ⑤ 道路整備予算の拡充及び道路整備に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書

採択した請願

(意見書、決議を求めるものを除く)

- ① 私立小・中・高等学校に対する運営費補助金の充実を求めることについて
- ② 保護者納付金(授業料)の公私間格差の是正を求めることについて
- ③ 私立幼稚園・認定こども園における幼児教育に対する教育費の負担軽減を求めることについて
- ④ 「幼稚園教諭の処遇改善」「心身障がい児教育」「子育て支援推進事業」の助成充実並びに「被災私立学校復興支援事業」の継続を求めることについて
- ⑤ 私立専修学校運営費助成金及び振興助成金の充実を求めることについて
- ⑥ 特別支援を必要とする生徒への教育事業助成金(高等課程対象)の新設を求めることについて
- ⑦ 専門学校生の教育費負担軽減に向けた就学支援措置の創設を求めることについて
- ⑧ 少子化時代に対応する公私立高等学校募集定員比率の設定を求めることについて

共に生きる社会の実現

【質疑】障がいのある方もない方も共に生きる社会の実現にどう取り組んでいくのか。

【答弁】1月から3月にかけて、障がいのある方への理解を深めるフォーラムや障がい者の芸術作品展を開催するとともに、平成30年度を目標に障がいのある無にかかわらず、共生する社会の実現を目指すための基本的な条例

農業の振興

【質疑】担い手不足が課題である本県の農業の振興をどのように図っていくのか。

【答弁】新規就農者の地域への受入態勢の整備、プロフェッショナル経営体の育成、先進技術等を導入したメガファーム等の大規模経営の確立を図るとともに、認証GAPの取組拡大、輸出拡大や地域産業6次化の推進などにより、将来にわたって持続的に発展する本県農業の実現にしっかりと取り組む。

お知らせ

- ◆平成30年2月定例会は、2月15日(木)開会の予定です。
- ◆ご意見・ご感想をお寄せください。
TEL:(024)521-7608
FAX:(024)521-7965
メール:gikaikoho@pref.fukushima.lg.jp
- ◆詳しい情報は
HP [福島県議会](#) 検索
- ◆「福島県議会フェイスブック」、「福島県議会公式チャンネル(YouTube)」もご覧ください。

広報委員会あいさつ

昨年11月から私たち9人の議員が新たに広報委員となりました。開かれた県議会を目指し、わかりやすく親しみやすい議会広報に努めます。

前列右から、今井久敏委員、宮川政夫委員長、橋本徹副委員長、宮本しづえ委員
後列右から、佐藤義憲委員、大場秀樹委員、渡部優生委員、高宮光敏委員、坂本竜太郎委員

〈広告〉